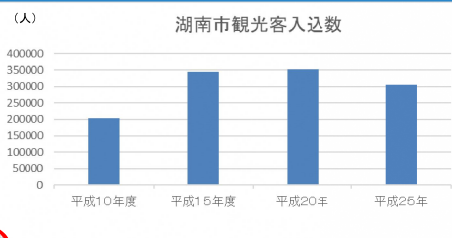




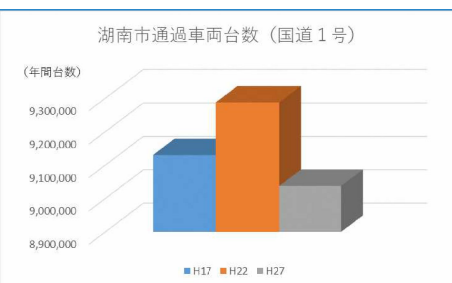
## 湖南省における現状と課題

### 【課題1】通過交通の街化

- ・国道1号バイパス、名神東湖南ICが整備され交通の要衝であり大量交通が往来。しかし、来訪者が気軽に立ち寄れる沿道休憩施設が国道1号沿線にない。
- ・湖南三山(国宝3寺)などの観光名所があるが生活道路を通過してのアクセスとなり分かりづらい。
- ・通過者が一元的に観光や地域の情報を収集できる施設がない。
- ・近隣市町に大型商業施設(アウトレットモール)や陶芸産地(信楽焼)が存在しているため、来訪の目的地とならず、「通過交通の街」化。



約900万台/年の通過交通に対して、観光客は約30万人/年程度と少ない！

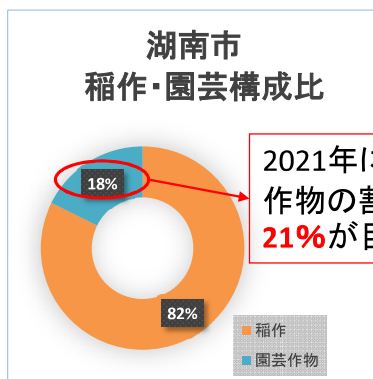
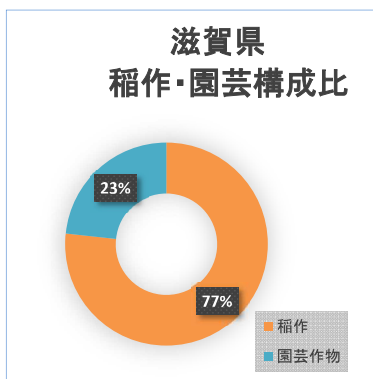
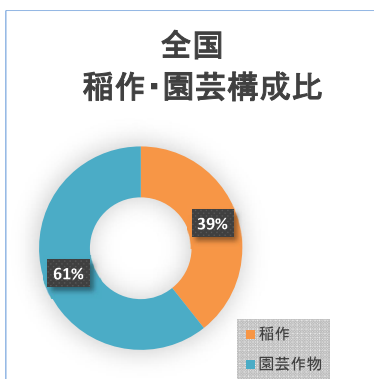
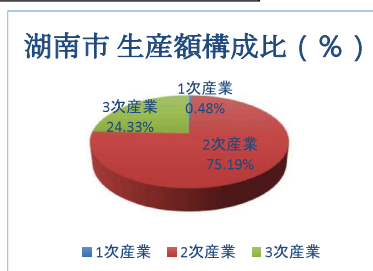
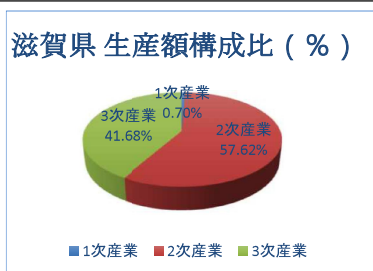
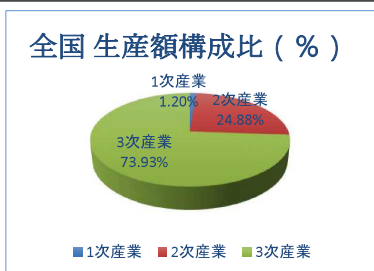


2

## 湖南省における現状と課題

### 【課題2】生産力が乏しく偏重している1次産業

- ・全国、県内基準と比較しても市内生産額に対する1次産業のシェアは0.5%と低い。
  - ・1次産業の衰退により約700ha規模の市内圃場において土地利用のできない遊休化、荒廃化が促進する。
  - ・水稻偏重で付加価値の高い園芸作物の生産が弱く農家の安定経営が見込めない。
- (産出額構成比で水稻82:園芸18の割合)

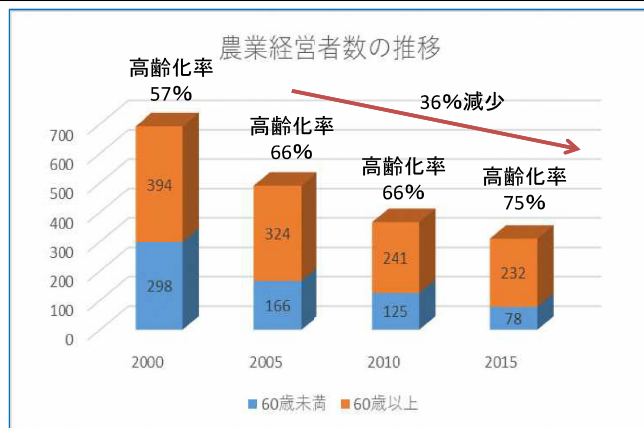


3

## 湖南省における現状と課題

### 【課題3】危機的状況下にある農業労働力

- ・農業経営者数に占める60歳以上の割合約75%。(過去5年で1.13倍)
- ・農業経営者数は年々減少し、10年間で36%減少。
- ・新たな担い手となる若手就農者の確保が困難。
- ・農業の担い手や後継者が不足することにより、土地利用の図れない遊休農地化や荒廃農地化が拡大する。



#### 新規就農者の状況

|      | 相談人数 |         | 新規就農 |         |
|------|------|---------|------|---------|
|      |      | うち45歳未満 |      | うち45歳未満 |
| 2015 | 5    | 2       | 0    | 0       |
| 2016 | 5    | 2       | 1    | 1       |
| 2017 | 2    | 1       | 0    | 0       |
| 計    | 12   | 5       | 1    | 1       |

#### 新たな担い手となる若手就農者の確保が困難な原因

- ◇工業生産額が高く、立地の製造企業も多いため、工場などへ就業する人が多い。
- ◇通勤圏である京阪神地域へのアクセスが容易なことから、地元就労以外にも広域な就労環境がある。
- ◇若者世代は京阪神地域にある大学などへ進学し、そのまま京阪神地域で就職を行うケースが多い。
- ◇農業経営は、新規就農するための初期投資が必要となることから、リスクが高い。
- ◇特に年間を通じた生産活動が可能となるビニルハウス栽培などは極めてコストがかかる。
- ◇農産物の販売においては、販売価格が安価であることから、大量生産(産地化)を行うなど必要経費の軽減を行い利益率を確保しなければならないが困難である。
- ◇自然を相手とする労働環境であり体力的にも厳しい環境。
- ◇就農を希望する人材が極めて少ない。

4

## 「みらい公園湖南」を活用して湖南省の抱える課題を克服

### 【課題1】通過交通の街化

### 【課題2】生産力が乏しく偏重している1次産業

### 【課題3】危機的状況下にある農業労働力

上記の課題を克服するための

#### 『コンセプト』

・市内外の交流者を増やし、地域等の情報の発信及び地場産品の販売等を通じて農業をはじめとする市内産業の魅力を創造し、地域を活性化させる。

「みらい公園湖南」が担う役割

- ・国道1号利用者のための気軽に利用できる休憩施設
- ・交流人口を増やすための地域の魅力情報の発信
- ・地域産業活性化拠点

## 『みらい公園湖南』の施設概要



6

## 『みらい公園湖南』が担う 湖南省の課題克服のための役割

国道1号利用者のための気軽に  
利用できる休憩施設

交流人口を増やすための地域の  
魅力情報の発信

地域産業活性化拠点



# 国道利用者のための情報収集・休憩施設

「課題1:通過交通の街化」の克服

## ■一般ドライバーへの休憩機能の提供

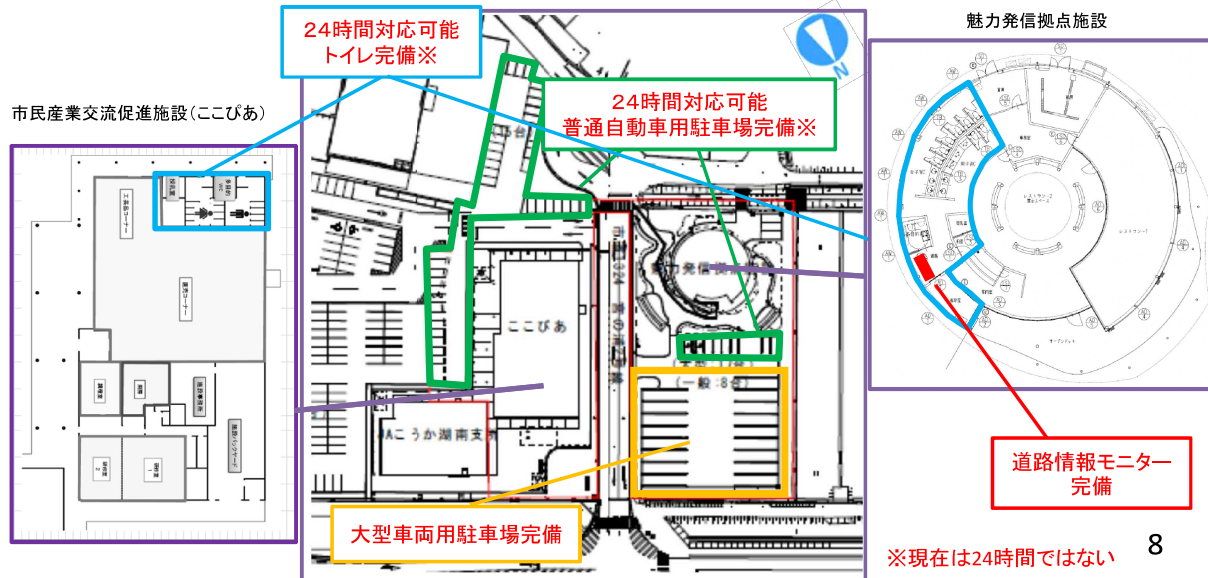
将来的には24時間利用可能な駐車場、トイレ、授乳室を整備

## ■地域産業振興を支える物流ドライバーへの休憩機能の提供

湖南工業団地(県下最大級)をはじめ、旧国道1号沿線などに多くの企業が林立するためトラックドライバー(特に長距離)向け大型駐車場も整備し立ち寄りやすい環境を整備

## ■気象情報や通行規制情報の収集場所の提供

必要に応じて、気象情報(降雨・降雪)・通行規制情報を利用者に発信可能なモニターを整備



8

# 交流人口を増やすための地域の魅力情報の発信

「課題1:通過交通の街化」の克服

## ■湖南省の魅力発信

通過交通者へ湖南省の『魅力情報発信』を一元的に行い観光名所へ通過交通者を呼び込む。

「通過交通の街」から「立ち寄りたくなる街」への転換

## ■特産品ショールームで湖南省の美味しい魅力発信

市民産業交流促進施設“ここびあ”“地産地消型レストラン”で、市内産の農産物や湖南省の特産品を交流者に食べてもらい美味しい魅力を発信

## ■「みらい公園湖南」を産業ツーリズムの拠点化し魅力発信

市内のモノづくり企業への『産業ツーリズム』の立ち寄り場所及び起終点として組み込み湖南省の交流者に魅力発信。

## ■グリーンツーリズム(体験農園)で交流者に体験型の魅力発信

“ここびあ”あるいは“HAT”でグリーンツーリズムの参加を募集、参加型の市内産の農産物や農業自体の魅力発信。



9

## 地域産業活性化拠点

～生産者の生産意欲向上を目指して～

「課題2:1次産業の衰退」の克服

- ・米作りが盛んな湖南省だが、稲作は大規模、集約化が進捗し小規模農家にとって苦しい時代
- ・1次産業の活性化のためには小規模農家の所得安定化が重要
- ・そこで付加価値の高い園芸作物の栽培に転換を図るべく各種の施策を実施してきた

### 市の実施中の主な園芸振興策



休耕地で比較的簡単に栽培可能で、高付加価値な“やまのいも”  
市が種芋費用などを補助



県内大学農学部と連携し、水田を転用し栽培可能な園芸作物の“エンサイ”の普及事業を実施中



市内立地の種苗メーカーと協力して推奨している高機能性野菜(リコピン等の成分が従来品種の2倍含まれる)

市外からの  
交流者

湖南  
市民

売れば  
さらに作  
りたい！

市内農  
業者

消費・購買

安心  
出荷

市内農産物  
有料試食の場

みらい公園湖南

地産地消型レストラン“HAT”

直売所“ここぴあ”

市内農産物  
ショールーム

しかしながら、なかなか思うように進展しない理由は、

- ・園芸作物を作ったところで、売れる場所がない
- ・作った園芸作物を誰が食べるんだ

農業者の生の声

来訪者多数が、レストランでの消費、直売所での購買

『生産者の意欲向上！』

1次産業活性化

13

## 地域産業活性化拠点

～農業に興味を持ってもらうきっかけ作り～

「課題3:農業従事者不足」の克服

- ・農業従事者の高齢化が進捗
- ・このままでは土地活用の図れない荒廃農地が増加
- ・農業に興味を持ってもらう「きっかけ作り」の場を創出

### グリーンツーリズム

- ・“HAT”や“ここぴあ”の集客力を活用し来訪者を対象に収穫体験など「グリーンツーリズム」への参加募集を実施
- ・農業体験を通じた農の魅力を発信し、農業に興味を持ってもらうきっかけに

収穫体験イベント



こんなにたくさん取れるんだあ！

是非収穫体験も参加しよー！

植え付け体験イベント

参加  
体験

農業通  
じた交流

みらい公園湖南

地産地消型レストラン

直売所“ここぴあ”

参加斡旋

市外からの  
交流者

湖南  
市民

### 農業塾

- ・市の農業振興事業である「農業塾」を「みらい公園湖南」で展開
- ・塾生の生産した農産物を集客力のある“ここぴあ”で即売
- ・塾生と来訪者を直接結びつける場としての「みらい公園湖南」
- ・“HAT”や“ここぴあ”で塾生募集

野菜作りって楽しそうだなあ

即売イベント

頑張ってたったの1つがあつたなあ

※「農業塾」は湖南省が平成28年度から実施している市民向けの園芸作物栽培の魅力を伝える事業。参加者は植え付け～収穫～販売までを実践的に体験できる。これまでに約300名の市民が修了。

- ・体験を通して農業への興味を持ってもらう
- ・農業塾への参加から新規就農者へ

13

## 「みらい公園湖南」での情報発信イメージ

魅力発信拠点施設“HAT”の案内コーナーから湖南市の魅力を伝える情報を発信し、市外からの交流者に市の魅力を伝え湖南市のファンの裾野を広げる。また、市民にもその魅力を再認識してもらう。「通過交通の街」から「立ち寄りたくなる街」への転換を図る。

### ○案内カウンター:

常駐する案内者により市内観光スポットの魅力や場所などきめ細かな情報を提供。

### ○パンフレット:

湖南市観光協会が作成している、観光パンフレットを配布し情報を提供。

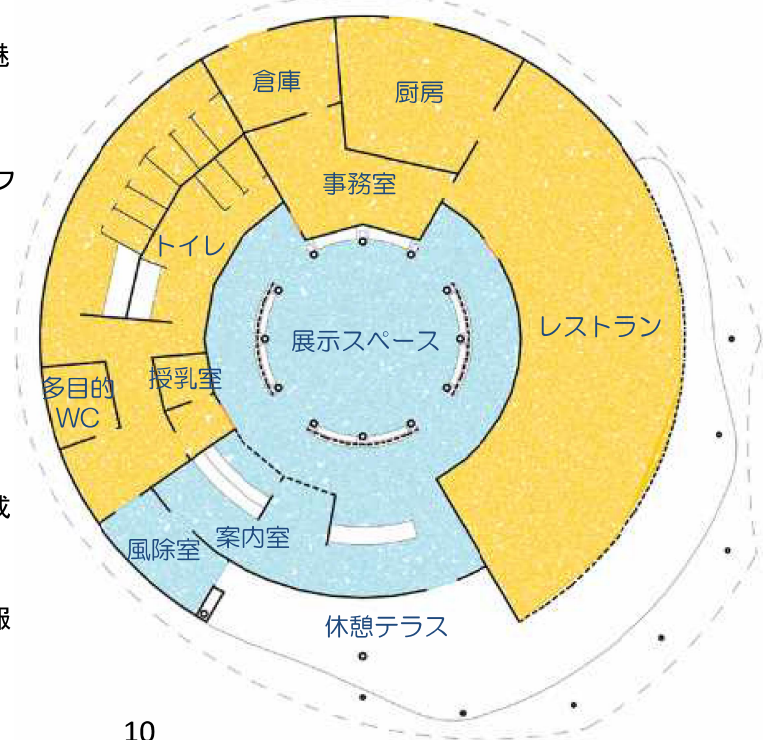


### ○魅力発信モニター:

観光協会作成の市の観光案内動画、市作成の移住定住促進PR動画等を提供。

### ○道路情報モニター:

周辺道路や高速道路の通行規制、渋滞情報等をリアルタイムで提供。



10

## 産業促進事業における産業ツーリズム(イメージ)

- ・民間旅行会社の商品には「民間工場の見学」を活用したバス旅行の商品が多くある。
- ・湖南市内には見学可能な製造企業が複数立地している。
- ・“HAT”や“ここぴあ”を立ち寄り場所及び起終点としてこの「工場見学ツアー」と結び付け活用を図っていく。

旅行会社の  
産業ツーリズム  
商品例

日帰り 大人の社会科見学ツアー 社会科見学体験も！  
初登場！わくわく自動車工場見学が豪華！  
ガトーフェスタハラダにこんにゃくパーク  
【料金】大人 6,990円  
【予約】前日18時迄  
【出発】10時

日帰り 大人の社会科見学ツアー 遊びのついでに！  
サントリー蔵酒工場見学  
オキノパン工場・サイボウハム・買いもの  
【料金】大人 6,990円  
【予約】前日18時迄  
【出発】10時

### モデルコース 一例

日  
帰  
り

各地発→TOTO滋賀工場(製作体験有)→“HAT”で昼食→十二坊温泉ゆらら(岩盤浴付)→“ここぴあ”でお買い物→各地着



みらい公園湖南

## 産業促進事業におけるグリーンツーリズム(イメージ)

- ・チャレンジ農園は、魅力発信拠点施設“HAT”に隣接する農場。
- ・湖南市の委託を受けた市内の農業法人により湖南市の農業振興事業を実施している。

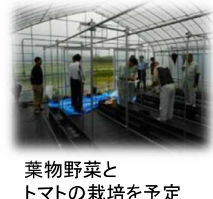
### チャレンジ農園

#### <新規就農者へ農業への関心を高める>

- ・体験農園の経験者、ある程度の農業経験者を対象に将来の新規就農を目指した施設園芸野菜作りに挑戦する農園。市が施設整備を行い、圃場の耕作者である農業法人TIK農産、滋賀県農業農村振興事務所の普及員及び市内立地種苗メーカーの研究圃場の研究員の協力を得て平成30年度から開始する事業。
- ・今年度4組の耕作者が挑戦を開始、内1組は体験農園で開催された「市民農業塾」の卒業生グループ。
- ・チャレンジ農園卒業後に、湖南市内遊休農地の斡旋、新規就農者向けの補助金事業など、市内での新規就農に向けたバックアップ継続予定。



市で設置した2棟のビニールハウスと1棟の資材機具倉庫



葉物野菜とトマトの栽培を予定

#### 体験農園<交流者へ農業の魅力発信>

- ・園芸作物の振興を目的に平成28年度から市民向け植え付け、収穫、販売等を通じた園芸作物栽培の魅力を伝える取組み「市民農業塾」を開催。
- ・約300名の市民が修了、昨年度は“ここぴあ”来場者向けの「グリーンツーリズム」有料のさつまいもとジャガイモの収穫体験イベントを実施し好評を得た。



研究農場での研修



座学での講習



圃場での講習



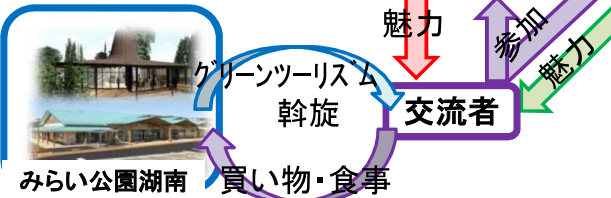
圃場で植付け



サツマイモ収穫体験



対面販売研修



買い物、食事、休憩で“ここぴあ”や“HAT”に立ち寄って頂いた交流者に収穫体験等をグリーンツーリズムの参加を斡旋する。体験農園とチャレンジ農園にはそれぞれ用の畝を事前に準備しておき、塾生やチャレンジ生にもグリーンツーリズムへの協力を義務付けている。グリーンツーリズムを通して交流者と湖南市の農を体験的に結び付ける。

11

## 産業促進事業における新たな地域特産品化(イメージ)

龍谷大学農学部との連携事業で休耕田を活用して栽培できる夏野菜“エンサイ”栽培普及を実施している



市民向け栽培講習会の様子(ここぴあ)

- ・“ここぴあ”で試食会と栽培説明会を実施し好評をえたところ



隣接農場での試験栽培の様子

市民と農業者に“エンサイ”の消費、栽培を“みらい公園湖南”を活用して働きかけ

市内大手製造業社が施設園芸でトマトの栽培を実施している。品種は市内立地の種苗メーカーの高機能性野菜(リコピンが通常のトマトの2倍)



体験農園隣接のハウスで栽培 今夏からここぴあで販売



トマトの加工品も今後検討中。“ここぴあ”での販売とレストランへの出荷を予定。

食べておいしい、作って売れる！が定着されれば新たな特産品化が図れる



“みらい公園湖南”活用で企業の農業参入成功事例となり、新特産品化と新たな企業農業参入によって地域経済が活性化

14

「みらい公園湖南」における産業促進事業による地域活性化のイメージ

